



【第 21 回アジア地下水ヒ素汚染フォーラム（福島）】 ＜Third Circular＞

第 21 回アジア地下水ヒ素汚染フォーラムを、メコン川流域地下水ヒ素汚染研究グループ（略称：メコングループ）が担当して、2016 年 12 月 3～4 日に福島大学で開催することになりました。福島での開催は、2009 年 11 月の第 14 回フォーラム以来、7 年ぶりとなります。ヒ素フォーラムのサード・サーキュラーを作成しましたので、お届けします。

ご存知のように、2011 年 3 月に発生した東日本大震災と東京電力福島第一原発の事故により、福島県は大きな被害を受けました。現在でも 10 万人近い福島県民が故郷から離れた場所で避難生活を続けています。今回のヒ素フォーラムでは、アジア各地での地下水ヒ素汚染問題への取り組み状況の紹介と交流を行うとともに、主に新潟や福島のメンバーから構成されるメコングループの活動の経緯と成果、活動の特徴、今後の活動計画を紹介したいと考えています。メコングループでは、大学生や大学院生など若者が積極的に参加・活動してきました。こうした若手が原発汚染水問題や再生可能エネルギーの研究にも取り組んでいます。そこで、今回の福島でのヒ素フォーラムでは、原発汚染水問題を地下水ヒ素汚染問題への取り組みの観点から検討するとともに、震災・原発事故から 5 年半後の福島の現状を現地の巡検で確認したいと思います。

第 21 回アジア地下水ヒ素汚染フォーラム（福島）にもできるだけ多くの方々に参加していただき、これまで以上に内容の豊かなフォーラムにしたいと思います。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

（メコングループ事務局長：柴崎直明）

第 21 回アジア地下水ヒ素汚染フォーラム（福島）の概要

- 期日：2016年12月3日（土）午後～4日（日）夕方（5日は巡検）
- 場所：福島大学金谷川キャンパス 共生システム理工学類後援募金記念棟
（福島県福島市金谷川1番 JR 東北本線 金谷川駅下車徒歩10分）
<http://www.fukushima-u.ac.jp/global/access/index.html>
- 交通：最寄駅：JR 東北本線 金谷川駅（福島駅から東北本線各駅停車で東京方面に2つめの駅）
お車の場合、ETC車は東北自動車道の福島松川スマートICから約10分、一般車は福島西ICから約15分、二本松ICから約20分
- 宿泊：福島大学付近には、徒歩で利用可能な宿泊施設はありません。ビジネスホテル等は、福島駅近くにあります。お車で来られる場合には、福島市内の温泉（土湯温泉、飯坂温泉、高湯温泉）や二本松市内の岳温泉などの宿泊施設を利用することも可能です。なお、宿泊の手配は、各自でお願いします。
- プログラム概要：
- 2016年12月3日（土）：受付（昼）、開会式・フォーラム発表（午後）、懇親会（夜）
2016年12月4日（日）：フォーラム発表（午前～午後）、閉会式（夕方）
2016年12月5日（月）：巡検（南相馬～浪江～富岡など原発周辺を予定）、夕方現地解散
- ・フォーラム会場：福島大学共生システム理工学類 後援募金記念棟
 - ・懇親会会場：JR 福島駅付近の居酒屋（予定）
 - ・口頭発表：パワーポイント用プロジェクターとスクリーンを準備します
 - ・ポスター発表：展示場所を準備する予定です
 - ・フォーラム参加費用（予稿集代を含む予定額）：一般3000円、院生学生1000円
 - ・懇親会費用（予定額）：一般3000円、院生学生1500円
 - ・巡検：マイクロバスを使用、12月5日8時福島駅西口発、19時頃福島駅着
 - ・巡検バス費用（予定額）：一般5000円、院生学生2500円
- フォーラムの構成：
- フォーラムでは、次のようなセッションと討論を予定しています。
- 第1部：「アジア各地でのヒ素汚染への取り組み」
第2部：「日本各地でのヒ素汚染への取り組み」
第3部：「原発汚染水問題と地下水ヒ素汚染問題」
第4部：討論「ヒ素汚染対策の今後と若手への継承－メコングループの経験から」
- 巡検について：
- 巡検の事前登録は終了しました。マイクロバス1台（25人乗り）で実施します。

第21回アジア地下水ヒ素汚染フォーラム（福島）のプログラム

10月31日時点で、次のようなプログラムとなっています。

第21回アジア地下水ヒ素汚染フォーラム プログラム

161031作成

2016年12月3日(土) 福島大学共生システム理工学類後援募金記念棟

時間		内容・発表題目	発表者	司会者
開始	終了			
12:00	13:00	受付		
13:00	13:15	開会式		
第1部:「アジア各地でのヒ素汚染への取り組み」				
13:15	13:45	メコン川流域における地下水ヒ素汚染の現状	伊東俊昭	佐藤ひかる
13:45	14:15	バングラデシュの水供給に対する水資源ポテンシャル評価	末永和幸	
14:15	14:45	地下水ヒ素汚染におけるヒ素の供給源—越後平野から内蒙古河套平野、そしてメコンデルタへ	久保田喜裕	
14:45	15:00	休憩		
15:00	15:30	Arsenic and Heavy Metals Contamination in Soils and Sediments under Different Land Uses in Estuary Ecosystem, Northern Vietnam	Nguyen Van Thinh	金子翔平
15:30	16:00	Arsenic contamination of water-soil-crop system in the vicinity of an industrial area of Bangladesh	Ahmed Minhaz	
16:00	16:30	Existence of Peat Sediment in Upper Aquifer and Groundwater Quality Parameters Affecting the Release of Arsenic in Bangladesh	Md. Shamim Uddin	
16:30	16:45	(タイトル確認中)	Md. Rezaul Karim	
16:45	17:00	(タイトル確認中)	デグシヤ	
17:00	17:20	第1部総合討論		柴崎直明
17:20	17:30	事務連絡等, 第1日終了		
JR福島駅東口に移動				
19:00	19:05	JR福島駅東口改札前に集合		
19:10	22:00頃	JR福島駅東口の「庄や 福島店」で懇親会		

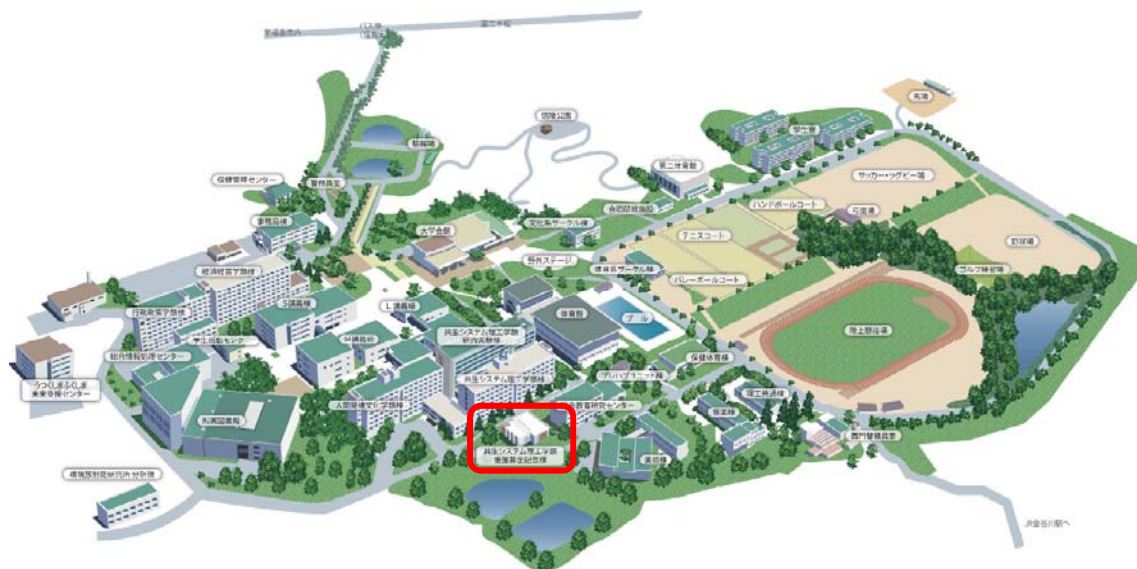
2016年12月4日(日) 福島大学共生システム理工学類後援募金記念棟

時間		内容・発表題目	発表者	司会者
開始	終了			
8:45	9:00	2日目受付		
第2部:「日本各地でのヒ素汚染への取り組み」				
9:00	9:30	猪苗代平野におけるヒ素が含まれる地下水の特徴	大槻弘晃	五十石浩介
9:30	10:00	地下温度プロファイルと層相をもとにした会津盆地での帯水層区分の可能性—ヒ素汚染調査での活用を目指して—	金子翔平	
10:00	10:30	土呂久地区における健康観察検診から—慢性砒素中毒症に伴う皮膚疾患の考察—	青柳成明・恒吉直人	
10:30	10:45	休憩		
10:45	11:00	金属鉄を用いたマグネサイト生成による排水処理	木本徹男	宮川兼太
11:00	11:30	地球環境基金助成による応用地質研究会ヒ素Gプロジェクト「バングラデシュの水供給困難地域における給水施設の持続的利用のための環境教育および維持管理技術支援」について	雁沢夏子・松本和也・末永和幸	
11:30	12:00	第2部総合討論		
12:00	13:00	昼食		
第3部:「原発汚染水問題と地下水ヒ素汚染問題」				
13:00	13:30	福島第一原発汚染水問題の現状と地質・地下水からみた課題	柴崎直明	相澤雄流
13:30	14:00	福島第一原発付近の地下地質構造と地下水流動	佐藤ひかる	
14:00	14:30	地下水Asと放射性Csの環境汚染に共通する鉱物学的視点の重要性	赤井純治	
14:30	15:00	第3部総合討論		末永和幸
15:00	15:30	休憩		
15:30	16:30	第4部: 討論「ヒ素汚染対策の今後と若手への継承—メコングループの経験から」		柴崎直明
16:30	16:45	次回のアジア地下水ヒ素汚染フォーラムについて		松本俊幸
16:45	17:00	閉会式, 事務連絡		

詳細な連絡

○フォーラム会場について

会場は、福島大学共生システム理工学類後援募金記念棟の会議室です（下図参照）。フォーラム当日は、入り口などに案内を掲示します。



↓ J R 金谷川駅



福島大学キャンパスマップ（上）と共生システム理工学類後援募金記念棟の写真（下）

○車での入構について【重要】

福島大学構内への車での入構が有料化されました。フォーラムに車で参加し、大学構内に無料で駐車したい方は、11月15日（水）までに柴崎（nshiba@sss.fukushima-u.ac.jp）にご連絡ください。大学事務に申請して無料化手続きを行います。

○福島市内での宿泊の確保について【重要、予約をお早めに！】

福島大学付近には宿泊施設がありません。宿泊される方は、J R 福島駅付近のホテルの利用が一般的です。最近、震災復旧関係等で福島市内の宿泊客が多く、ホテルの空室が少ない状況です。宿泊される方は、ご自分でお早めにホテル等を予約してください。

○フォーラム開催日の昼食について

フォーラム開催日の昼食は、各自で準備していただきます（お弁当などの予約販売はあり

ません)。12月3日(土)は、大学生協の購買部と食堂が開いています。しかし、4日(日)は、購買部しか開いていません。大学周辺には食堂がほとんどなく、コンビニは金谷川駅前の1軒だけです。そのため、福島駅付近に宿泊される方は、朝、福島駅付近でお弁当などを準備されることをお勧めします。なお、大学生協の購買部と食堂には、ハラルメニューはありません。

○懇親会について

フォーラム初日(12月3日)の晩に、JR福島駅東口から徒歩5分のところにある「庄や福島店」で懇親会を開催します。懇親会に参加する方は、金谷川方面からの電車の到着時間に合わせて、JR福島駅東口改札前に19時05分までに集合してください。そこから歩いて懇親会場に移動します。懇親会費は、懇親会場で徴収する予定です。

○発表者の方へ

プレゼンファイルは、USBメモリに入れて、当日持参してください。持ち時間が30分の場合、発表時間を20～25分程度とし、残りは質疑応答の時間とします。持ち時間が15分の場合、発表時間を10分程度とします。

○巡検について

事前予約された方々を対象に、マイクロバスを使用して、12月5日に巡検を行います。当日は、午前8時00分にJR福島駅西口を出発し、19時頃に福島駅に戻ってくる予定です。現在、バス会社と詳細な巡検コースを調整しています。主な巡検コースは、次のとおりです。

08:00 福島駅西口出発→飯舘村見学→道の駅「南相馬」→相馬市津波被災地→道の駅「そうま」(昼食)→南相馬市津波被災地・露頭観察→浪江町津波被災地・露頭観察→国道6号を通過しながら福島第一原発付近を見学→常磐道経由で道の駅「南相馬」(16時30頃)→JR福島駅到着(19時頃)

当日、巡検資料を配布する予定です。

巡検に参加される方は、防寒対策や雨具の準備をお願いします。

それでは、どうぞよろしくお願いいたします。

第21回アジア地下水ヒ素汚染フォーラム(福島)準備事務局
柴崎直明

Email: nshiba@sss.fukushima-u.ac.jp